

平成23年度 指導改善プラン

千代田区立麴町小学校

1 達成度調査及び児童の学習状況から見た成果と課題(4・5・6年)

○:成果 ▲:課題

	4 年	5 年	6 年
国語	<p>○説明的文章の内容理解や文学的文章の人物の心情の理解と記述や内容の理解が十分に達成されている。</p> <p>○話す力・聞く力について力が十分についてきている。</p> <p>▲言語事項の理解や書く力がやや不十分である。</p>	<p>○説明的文章における段落相互の関係を把握する問題で到達度が高い。</p> <p>○文学的文章における記述に即した読み取りや人物の心情理解の能力が高い。</p> <p>▲説明的文章に関する設問全般で到達度が低い。</p> <p>▲記述式の設問において無回答率が高い。</p>	<p>○言語事項や文学的文章の読み取りの達成率が高い。</p> <p>▲書く力、話す力・聞く力がやや不十分である。</p> <p>▲相対的に見ると、他教科に比べ、国語の到達度が低い傾向にある。</p>
社会	<p>○進んで調べようと意欲的に活動ができ、社会的な思考・判断力が優れている。</p> <p>▲基礎的な知識・理解の定着がやや不十分である。</p>	<p>○基礎力を問う設問においては、概ね高水準の到達度を示しており、特に資料の読み取りに関する設問において到達度が高い。</p> <p>▲自分の考えを文章で表現する設問で到達度が低い。</p>	<p>○ほとんどの項目において到達度が高い。</p> <p>○基礎がよく身に付いており、知識・理解と観察、資料活用の技能・表現で達成率が高い。</p> <p>▲資料を読み取って、その理由を考え、記述する力の到達度が低い。</p>
算数	<p>○各領域とも、基礎となる内容は、概ね定着しており、学習したことをいかして考える力も十分に身に付いている。</p> <p>▲図形に対する知識・理解が不十分である。</p>	<p>○図形の問題において、到達度が高い。</p> <p>▲ほとんどの項目において到達度・達成率ともに高く、特に、数学的な考え方・数量関係の項目において到達度が低い。</p>	<p>○すべての調査項目において達成率が高いことから、概ね期待通りの学力を身に付けている。</p> <p>○問題解決後の見直しや表やグラフから変化の決まりを調べようとする意識が高い。</p>
理科	<p>○自然事象についての知識・理解に優れる。</p> <p>▲観察や実験の方法はまだ十分身に付いておらず、また、表現する力も低い。</p>	<p>○電流やペットボトルロケットに関する問題で正答率が高い。</p> <p>▲ほとんどの項目において到達度・達成率ともに低い。</p> <p>▲閉じこめた空気と水のかさ・水の三態変化の設問において、正答率が低い。</p>	<p>○ほとんどの項目において到達度が高く、特に、科学的な思考と知識・理解についての項目において達成率がとても高い。</p> <p>▲相対的に観察実験の技能・表現の達成率が低い。</p>

2 調査以外の教科についての成果と課題(4・5・6年)

体育…日常の体育の学習や新体力テストの結果等から、全学年において運動の基礎となる体力、特に「力強さ・巧みさ・持久力」の3点を重点的に育成していく必要がある。

総合…協同的な探究活動を進め、考え方・生き方を伸ばしていくことができた。今後は、年間指導計画の見直しをする必要がある。

3 調査以外の学年の成果と課題及び改善の取り組み(1・2・3年) ○:成果 ◆:課題、改善の取り組み

	1 年	2 年	3 年
国語	<p>○ひらがなの練習に最後まで意欲的に取り組んだ。学習にしたりとりや言葉集めを取り入れることで、楽しみながら言葉を覚え、語彙が増えてきた。</p> <p>○音読カードを活用し、家庭学習でも音読に力を入れて取り組んだ。語のまとまりに気を付けて文を読んだり、声の速さや気持ちを込めるなど工夫して読んだりするようになってきた。</p> <p>◆促音や拗音、同音異字の表記の仕方をしっかりと身に付けさせたい。</p>	<p>○説明的な文章の学習では、文章を正しく読み取るとともに、自分の目で実物を見て確かめることで理解を深めることができた。</p> <p>○自分なりの感想をもちながら学習を進める力がついてきた。</p> <p>○音読に熱心に取り組む児童が多く、「読む」能力が伸びている。</p> <p>◆漢字を正確に書くことが十分でない。漢字練習等を繰り返し指導し、2年生として押さえるべき漢字を確実に定着させたい。</p>	<p>○文学的文章に対しての関心が高く、内容についても十分に理解できている。</p> <p>○家庭学習で古文や落語を読み、意欲的に音読する児童が増えてきている。</p> <p>◆漢字を正確に書く力が十分とは言えない。繰り返し指導し、充実させたい。</p> <p>◆文を書く力を定着させるために、楽しく書く活動をする工夫が一層必要である。</p>
社会			<p>○町探検では、町の様子や人通りなど、項目立てて地図にまとめることができた。</p> <p>○区内めぐりをしたことで、千代田区の全体的な位置関係について理解が深まった。</p> <p>◆自ら進んで調べようとする態度を育成させるため、いくつかの観点を提示し、選択する経験を積ませる。</p>
算数	<p>○具体物を用いて学習することで、加法や減法の意味理解が深まった。</p> <p>○10までのたし算・ひき算の計算練習を繰り返し行うことで、計算が正確に早くできるようになってきた。</p> <p>◆文章問題を読んで、聞いていることを理解し、式に書き表したり単位を付けて答えたりする力に個人差があるので、個別指導の充実を図る。</p>	<p>○繰り上がりのたし算は、筆算の仕組みをよく理解し、確実に計算する力が身に付いている。</p> <p>○長さの学習に興味をもち、進んで長さ調べに取り組み、量感を得ていた。</p> <p>◆繰り下がりのあるひき算では、引く数から引かれる数を引こうとしたり、繰り下がったことを忘れてしまったりする等、計算の仕方をまだ十分に理解できていない児童がいるので、個別指導の充実を図る。</p>	<p>○3桁や4桁のたし算やひき算、わり算は、家庭学習など繰り返し行うことで計算力が身に付いてきている。</p> <p>○問題解決にあたり、多様な意見に触れることで、そのよさを感じてきている。</p> <p>◆問題を意欲的に考えることはできるが、順序よく説明するなどの表現力に個人差がある。分かりやすい表現の仕方を工夫させる。</p>
理科			<p>○体験活動を重視した結果、実感を伴った理解ができている。特に昆虫に対しての関心が強く、よく観察できている。</p> <p>◆学んだことを発展させて、新たな課題を作り出すという点で、まだ力を発揮できていないので、そうした機会を設けていきたい。</p>
生活	<p>○一人一鉢の「あさがお」に愛着をもち、大事に育てている児童が多く、細かいところや変化によく気付いていた。観察カードにもその気付きを表現することができた。</p> <p>○「なつともだち」では、身近な自然を観察したり水を使った遊びを工夫したりすることで、夏の自然に親しみ、夏を肌で感じる事ができた。</p> <p>◆児童の気付きの質を高められるように、発問や学習活動を工夫する。</p>	<p>○身近な自然と繰り返し関わることによって、一人一人が実感を伴いながら、自然の不思議さや面白さに気付くことができた。</p> <p>○学校探検や校外学習などの活動を通して気付いたことや楽しかったことなどを、言葉や絵などに表現することができた。</p> <p>◆同様の活動を繰り返し行ったり、お互いの気付きを共有し合ったりすることによって、気付きの質が高められるよう、学習活動の充実を図る。</p>	

4 改善の方針

- ◎基礎的・基本的な内容の指導を重視し、児童一人一人が確かな学力を身に付けられるように、少人数指導、T T指導、教科担任制による授業等の充実を図る。
- ◎体験的な活動を充実し、児童一人一人が実感を伴った理解を得られるように指導法を工夫する。
- ◎児童が達成感や充実感を味わえるような学習活動を展開し、進んで学ぶ意欲の向上を図る。

5 学校としての改善の取り組み(4・5・6年)

	4 年	5 年	6 年
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・言語事項の理解や書く力の定着を目指すため、楽しく読書できる環境づくりをしたり、作文指導の充実を図ったりする。 ・話し合いの場で、特に聞く力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で図書室を活用して、説明的文章を中心に、様々な分野の書物に触れる機会を設ける。 ・文章を書くことに抵抗を示す児童が多いため、基礎からの作文指導を行い、自信をもって自分の考えを書き表すことができるようにする。口答による発表の場面でも、自分の考えを筋道を立てて表現できるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く力を伸ばす方策としては、国語だけに限らず、他教科でも自分の考えを言葉で表現する活動を多く取り入れる。 ・話す、聞く力を高めるために、朝の一分間スピーチで自分の考えを学級のメンバーに伝えたり、友達の発表に対して自分の意見や感想を発表したりする活動を取り入れる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な体験を通して、基礎的な知識・理解の定着を図るとともに、観察・資料活用の技能・表現する楽しさ、おもしろさを広げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会的事象に興味関心をもつことができるよう、朝の会などのスピーチの場面では、新聞やニュースを題材にできるよう指導する。 ・様々な社会的事象について、自らの生活経験をもとに考えを深め、自分の考えを表現する機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとに時代背景や変化の要因などについて考える発問を意図的に行い、資料を読み取る力を育てていく。 ・日常の社会的事象についても朝の一分間スピーチの中に積極的に取り入れるよう指導し、新聞などの資料を読み取ったり考えたりする機会を増やす。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習に入った後、作図や長さ・角度の計測等を繰り返し練習するように指導し、基礎的な知識・理解のさらなる定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導を充実させて、到達度の低い児童への指導を充実させる。 ・特に単元の導入などの場面でグループでの学習を取り入れ、多様な考え方に触れる機会を増やしていく。 ・習熟問題に繰り返し取り組み、理解できなくなった問題について、粘り強く取り組むよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟の早い児童については、発展的な問題に単元末や単元の途中で適宜取り組ませ、さらなる意欲の向上を図っていく。 ・習熟の遅い児童については、夏の学力育成教室などを活用し、個別支援を行い、既習の学習内容を重点的に指導していく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の技能や表現することの楽しさを実感させる授業づくりを目指す。 ・自然の不思議に興味をもって関われる児童に育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象提示の工夫やものづくり活動を充実させ、驚きや感動を伴う学習活動を行う。 ・観察の仕方や自由研究の指導を充実させ、身の回りの事象を科学的に捉える力を養う。 ・問題解決の流れを身に付けたり、ノート指導を充実させたりして、論理的思考力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の様々な事象について関心・意欲がとても高いので、引き続き単元構成の工夫や体験的な活動を実施し、意欲を継続させていく。 ・実験の結果から分かる事象に関して分析、考察を重ね、科学的な考え方を伸ばし、そのことが次の学習に生きるよう指導していく。

6 教員の改善の取り組み

- 今年度大きく改訂した年間指導計画、評価計画を吟味し、授業のさらなる充実を図る。また、体験的な活動を多く展開できるようにする。
- 校内研究に関連して、理科・生活科においては、観察・実験を効果的に行い、実感を伴った理解を図る指導法を工夫する。
- 個に応じた指導を行うために、習熟度別少人数指導やT T指導、教科担任制による授業を計画的に行い、児童一人一人に確かな学力が身に付くように指導法を工夫する。

7 検証方法

- 学期末には、各教科の単元ごとの達成度を調査し、児童の学習状況を把握し、学習の成果を考察する。
- 児童のノート・ワークシートの記録から児童一人一人の学習状況を把握し、学習の成果を考察する。